樟蔭学園報
Vol. 177
2017 Summer

くすのき
Kusunoki

樟蔭学園は創立100周年
100th
SHOIN GAKUEN
Established in 1917

100周年を祝う桜と記念館

CONTENTS

● こもれびの窓 ― 祖母・母・娘・孫、4世代の樟蔭ファミリー
時代は変わっても、樟蔭の良さをいつまでも 1
● NEWS ―「各校の卒業式 & 入学式」ほか 3
● CLUB NAVI ― 大学 演劇部 9
● WingBEAT! ―「伝統の袴で、百人一首大会に挑戦!」●● ●●●さん 10
● Information ― イベントのお知らせ 11
● FORUM ―「新任教員紹介」ほか 12
● 2016(平成28)年度決算概要報告 13
● リレー★コラム 永井 利和先生 & STAFF@SHOIN フラス・ポロナさん 15

はばたけ、知性。

題字：大学　宮崎彰夫名誉教授(日展評議員／雅号·葵光)

樟蔭百年

こもれびの窓 vol.35

時代は変わっても、樟蔭の良さをいつまでも

学園創立100周年を記念し、樟蔭で学んだ、そして今、樟蔭中学校で学んでいる祖母・母・娘・孫の4世代を紹介します。学生時代の思い出、そして本学の良さなどを語っていただきました。

3世代の学生時代の写真。
左から智子さん、栄子さん、洋子さん

追悼　1世代目　髙橋栄子さん

1938年３月　樟蔭高等女学校卒業

3世代表彰に感激

「相手の立場になって考えなさい」「自分がされてイヤなことは人にしない」と唱えてこられた栄子さん。自身の母校に娘と孫が入学したことで、創立70周年記念式典で3世代表彰をされたことを大変に喜んでおられたそうです。
「母は頑張り屋さんでした。若い時は茶道・華道、そして私が嫁いでからは習字も始めたうえに、地域の民生委員や婦人部長としても活動していました」。また、「上本町から樟蔭行きの専用列車が出ていた」などの思い出をいつも懐かしそうに話しておられたそうです。

創立70周年記念式典での記念写真。
左から智子さん、栄子さん、洋子さん

2世代目　平田洋子さん

1959年３月　樟蔭中学校卒業
1962年３月　樟蔭高等学校卒業
1964年３月　大阪樟蔭女子大学別科（生活専修）卒業

◆樟蔭時代の友だちは一生の宝もの

母は女の子が生まれたら樟蔭にと思っていたようです。父も25歳までに結婚させたいという思いがあり、樟蔭なら良き妻・良き母・品性高い女性になるための教育を受けられると考えたのでしょう。実際、女子校ならではのおおらかな雰囲気がありました。また、生活に役立つ専門的な知識や技能をたくさん学びました。特に調理の授業で習ったことは今も大いに役立っています。卒業して50年以上になりますが、学生時代の友だちとは現在も付き合いがあり、ランチをしたり、一緒に旅行したりしています。同窓会の委員でお世話になっていますが、時代とともに校風なども変化するなかで、ずっと変わらないのが制服。また、卒業式で歌われる「祝歌」は、在校生との掛け合いで歌う曲で、今も変わらずに受け継がれているのが嬉しいです。人生の先輩として若い人たちに伝えたいのは、在学中に「良い友だちを沢山作ってほしい」ということ。学生時代からの友だちには飾らず何でも話せますから。一生の宝物ですね。

●当時の校舎はほとんどが木造で、藤棚や池がありました。靴のかかとを修理してくれるコーナーが敷地内にあり、これは珍しかったと思います。黒紋付き着物に深緑の袴という樟蔭独特のスタイルも忘れられません。娘のためにあつらえた袴は今も手元にあり、いつか孫が着てくれたら嬉しいですね。

高校3年の修学旅行のスナップ。右端が洋子さん

（平田洋子さんの娘）
3世代目　水田智子さん

1987年３月　樟蔭中学校卒業
1990年３月　樟蔭高等学校卒業
1992年３月　大阪樟蔭女子大学別科（生活専修食物コース）卒業

◆卒業後も友人たちと母校を訪問

幼い頃から制服の可愛さに憧れていましたし、母の勧めもあり樟蔭に入学しました。大学の別科（食物コース）では、朝から夕方まで授業があり大変でしたが、友だちに恵まれ通学が楽しかったです。一番の思い出は、中学の軟式テニス部、高校の硬式テニス部の活動ですね。練習はハードでしたが成績も残せましたし、「努力は報われる」ことを実感し成長できました。当時の友だちとは、時々集まって賑やかにお喋りをしています。「学舎が新しくなったらしいよ」などの理由で母校を訪れることもあります。卒業して何年経っても、みんな樟蔭が大好きなんです。自分のしたいことにチャレンジできる自由な校風も心地よかったですね。先生との距離も近くて、どんな相談も親身になって聞いて下さいました。姪（●●さん）にも「女子校でできる友だちっていいよ」と入学を勧めました。時代が変わっても、女子校のままで樟蔭の良さを守り続けてほしいです。

後列左から2人目が智子さん

●高校３年のクラス対抗ダンス対決「青春の躍動」で、私たちのクラスは大人っぽいビスチェを着て「エルビス・プレスリー」の曲で踊りました。普段は着られないような衣装を自分たちで作り、上靴も染めて、とても楽しかったです。今はない円形校舎の螺旋階段や屋上などで、お弁当を食べたりしたのも懐かしい思い出です。

（平田洋子さんの長男の娘）
4世代目　●●●●さん

樟蔭中学校２年生

◆女の子同士でわかりあえて、学校ではいつも笑顔

先生も先輩も、みんな優しいです。授業もとてもわかりやすくて、特に数学と英語が好きです。1年生の行事で楽しかったのは、入学してすぐに行われた合宿です。グループワークなどで友だちができて、授業で理解できなかった部分などを教え合ったりしています。クラブ活動では、吹奏楽部に入部し、バリトンサックスを担当しています。女の子同士なので、わかりあえることが多く、いつも笑顔でいられます。樟蔭の先輩でもある祖母や叔母も近くに住んでいるので、いろいろと相談にのってもらえて安心です。今後の進路についても、先生や家族と相談しながら決めていきたいです。

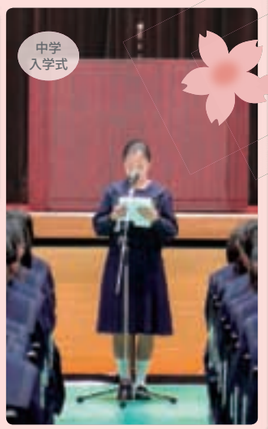
吹奏楽部でバリトンサックスを演奏する●●さん

卒業生の方々のご活躍の様子をお知らせください。
●TEL.06-6723-8152　●FAX.06-6723-8263
さまざまな分野でご活躍されている卒業生の情報をお寄せいただき、みなさまの力をお借りして、この「こもれびの窓」で幅広い卒業生の姿をお伝えしていきたいと思います。
身近でご活躍の卒業生の様子をぜひとも100周年記念事業本部までお知らせくださいますよう、お願いいたします。

学園

ご卒業・ご卒園

ご入学・ご入園



ご卒業・ご入学 おめでとうございます

3月、幼稚園39人、中学校76人、高校292人、大学497人、大学院10人が多くの来賓や保護者に見守られ、学園を巣立ちました。卒業生としての誇りと自信を持ち、新しい世界で活躍することを願っています。そして4月、幼稚園37人、中学校72人、高校288人、大学683人、大学院10人が入学しました。思い出に残る素晴らしい学校生活を送ってほしいと思います。

学園

思い出の場所に感謝の気持ちを
――キャンパスプラザに芳名板を設置

法人・団体および個人152名のご芳名を顕彰

「学園創立100周年記念事業募金」にご寄付いただいた方のご芳名を記載した芳名板をキャンパスプラザに設置し、5月11日（木）に除幕式を執り行いました。

創立100周年を迎えるにあたり、小阪キャンパスリニューアル、学部の開設、イベントの開催など、さまざまな記念事業を行ってきました。これらの事業資金はすべて卒業生、保護者、教職員、法人、団体など多くの皆さまからの温かいご支援によるものです。深い感謝の気持ちを込めて、学園創立当時の女学校時代から樟蔭生に愛されてきた藤棚を再現したキャンパスプラザに設置し、その功績を称え、後世に残していきます。

現在は、2013年から2017年3月末までに一定の金額以上ご寄付いただきました方々のご芳名を記載しています。今後は、2018年3月31日までの期間終了後に最終の寄付者銘板を増設する予定です。

文学館

田辺聖子文学館 ジュニア文学賞 表彰式

読書体験記部門優秀賞を受賞した●●●●さん（高1）

表現力豊かな若い世代を育てようと全国の中学生・高校生から作品を募る「第9回田辺聖子文学館ジュニア文学賞」の表彰式を3月21日（火）、シェラトン都ホテル大阪（大阪市天王寺区）で行いました。最高賞の「田辺聖子賞」に輝いた東京都・田園調布学園中等部3年の●●●●●さん、兵庫県立須磨友が丘高校3年の●●●さんらに賞状が手渡されました。

田辺聖子さんは「この賞が、年若い人々の励みとなり、挑戦の冒険を楽しんで下されば…と思っています」とコメントを寄せ、審査委員長の中西進館長は「たくさん本を熟読することは、他者を受け入れること、すなわち成長することにつながります。文字・言葉の知識をさらに考え深め、吸収し、栄光あるこの受賞をそれぞれの未来につなげてほしい」とエールを送りました。

本学の生徒も入賞！

読書体験記	高校生の部	（優秀賞）	樟蔭高校1年	●●●●さん
		（佳作）	樟蔭高校2年	●●●さん
			樟蔭高校2年	●●●●さん
	中学生の部	（佳作）	樟蔭中学校2年	●●●●さん
			樟蔭中学校3年	●●●●さん

※学年は受賞当時を記載

中学校・高校

成人の日同窓会を開催

成人の日の1月9日（祝）、中学校・高校を卒業した新成人が翔空館で「成人の日同窓会」を開きました。卒業生の有志が実行委員会を組織して同窓会を企画。この日のために打ち合わせを重ねて準備してきました。

当日は、華やかな振り袖に身を包んだ第67回卒業生が恩師や友人たちと再会を楽しみました。懐かしいビデオを見ながら在学中を振り返ったり、近況を教え合ったりする姿が印象的でした。また、プロカメラマンによる記念撮影会もあり、大人の女性らしい笑顔があふれていました。

幼稚園

園児たちの発表会
歌や劇を披露しました

幼稚園の「お楽しみ会」を2月16日（木）、17日（金）に開催しました。子どもたちが普段の遊びを通して工夫し、発展させた劇遊びとお気に入りの歌を発表し、文字通り、思い切り楽しい時間を過ごしました。クラスのお友だちと力を合わせて、オリジナルストーリーや道具などを作り上げた劇だからこそ、子どもたちの顔には自信とやる気がみなぎっていました。先生が子どもたちのために一生懸命向き合う姿と成長した子どもの可愛く元気な歌声はご家族の方の心に響き、涙する方も。沢山の拍手と声援を受け、愛情あふれる2日間のプログラムを締めくくりました。

大学

樟蔭寮、46年の歴史に幕

樟蔭寮が3月末、46年の歴史に幕を下ろしました。

寮は1971(昭和46)年、それまで校内外に点在していた5つの寮をまとめ、小阪キャンパスから徒歩15分のところに建設。遠方出身の学生を受け入れました。ピアノ室や2段式ベッドの寮部屋、ミシン・アイロン室などを備え、学生生活を支えました。たくさんの出会いを生み、学生の姿を見守ってきた寮に感謝したいと思います。

中学校・高校

樟蔭学園は創立100周年 100th SHOIN GAKUEN Established in 1917

創立100周年記念

躍動感あふれる演技を披露！
第7回 身体表現コース発表会

中学校・高校の身体表現コースで学ぶ生徒が日ごろの練習の成果を披露する「第7回身体表現コース発表会」を5月2日（火）、3日（祝）、八尾市文化会館プリズムホールで開催しました。全国レベルで活躍するダンス、バトントワリング、ポンポンチア、新体操部の生徒のほか、卒業生や樟蔭ジュニア（地域の小学生、園児のレッスン生）が躍動感あふれる演技を披露しました。完成度の高い演技に2日間で約2500人の観客から大きな拍手が送られました。発表会は身体表現の魅力を地域の皆さまに発信しようと毎年5月に開いています。今年は学園創立100周年を記念して、いつも以上に華やかなステージとなりました。

中学校・高校

中高体育館と運動場が完成

100周年記念事業の一環として、2016（平成28）年7月から建て替え工事を実施していた中学校・高校体育館が完成しました。
新体育館は、外壁面にエンジ色をアクセントに使い、活動的なイメージでデザインされています。1階にバスケットボールコート2面分の競技場、2階にはダンスや剣道、体操に利用できるアンサンブル室や多数のクラブボックスを設けています。太陽光が差し込む明るいアンサンブル室は、壁一面に鏡を設置し、特にダンスの練習に適した施設となっています。また、天井の高さが特徴の一つでもある競技場は、バトンや新体操をはじめ、各クラブが伸び伸びと練習できるようになり、競技の幅も広がっています。

さらに、旧体育館があった場所は運動場として整備。以前より広めに感じる運動場はテニスコート3面が完成しました。生徒たちは授業やクラブ活動の時に新しい運動場で気持ち良く汗を流しています。

大学

管理栄養士国家試験 4年連続合格率100%達成

5月9日（火）、第31回管理栄養士国家試験の結果発表があり、管理栄養士専攻の新卒受験生70人全員が合格しました。4年連続で合格率100%は、全国152の養成施設のうち唯一、本学だけという快挙です。なお、合格率100%は過去6年間で5回達成しています。今回の試験の総受験者数は19472人、合格者数は10622人で合格率は54.6%。新卒受験生の合格率は92.4%でした。

大学

道頓堀に横断幕

5月3日（祝）～7日（日）、大阪・ミナミの道頓堀川に面した水辺の遊歩道「とんぼりリバーウォーク」に、学園創立100周年を祝う横断幕を設置し、多くの人に「樟蔭」をPRしました。ゴールデンウィーク中ということもあり、近隣では約15万人が集う「～道頓堀★春フェス2017～」が開催されており、横幅8メートルの大きなピンク色の横断幕は、いつもよりひときわ賑わう繁華街に大きく掲げられました。

中学校・高校

高校生が食を通じて国際交流

3月14日（火）、高校の健康栄養・フードスタディコース1年生・2年生が、観光都市・マカオの中心部にあるインターナショナルスクール校の先生と生徒さん総勢51名をお迎えして交流会を行いました。
インターナショナルスクールはアメリカ、アフリカ、オーストラリア、ポルトガル、インド、ドイツ、香港、中国など13カ国の生徒が在籍。日本文化の奥深さを知り、日本の高校生と国際交流を図るのが目的で2回目の来校となります。昨年は、用意した英語のレシピをもとに、おにぎりとお味噌汁、卵焼きという基本的な日本料理を、今年は午後からの交流会のため、スイーツを一緒に作り、食を通じて交流を深めました。本校の高校生にとって、多くの国の生徒と交流できることは異文化理解を深め、国際感覚を養う絶好の機会となっています。

「マシュマロフルーツ作り」で国際交流

幼稚園

おじいちゃん、おばあちゃんのための 孫育て講座

「ひなまつり会」を開いた3月3日（金）、園児の祖父母を対象にした「おじいちゃん、おばあちゃんのための孫育て講座」を開催しました。講師は大阪樟蔭女子大学児童学部児童学科の山本幸夫教授。「孫にとって祖父母はとにかく優しい。そして、安心感がある。ほっとできる。幸福感を得られる。そんな存在であってほしい」と山本教授は話しました。

大学

国文学科書道コースの卒業書作展

2月22日（水）～26日（日）、国文学科書道コース・宮崎ゼミが「書」の卒業作品を展示しました。書体や技法など書道の奥深さを研究してきた学生が4年間で培った技術力・表現力の集大成です。制作過程では、研究しても調べきれない文字があったとき、書家の特徴や味わいを紐解きながら、文字を創作することもあったそうです。作品はどれも堂々としていて見事でした。

中学校・高校

国際交流の充実を図っています

台湾の姉妹校へ 交流旅行

姚麗英校長と楠野校長。記念品を交換しました

姉妹校である台湾・新竹市の曙光女子高級中学校との交流を深めようと3月20日（月）～23日（木）、生徒29人が台湾を訪れました。
本校から曙光女子高級中学校への訪問は初めて。交歓会では本校の生徒が東日本大震災の復興を応援する歌「花は咲く」を日本語と中国語で、ディズニーパークのテーマソング「It's a small world」を両校の生徒が掛け合いで歌うなど交流を図りました。
さらに、夜市や台北101、忠烈祠や故宮博物館など、現地ガイドによる見学を行い、台湾の歴史や文化を学びました。また、台湾の女子大生の案内で市内観光を楽しむシスタープログラムを体験し、台湾の女子大生との交流も図ることができました。

中学校・高校

中学3年生が卒業論文を作成

毎年、中学3年生は卒業論文を作成しています。社会科の一環で、卒業論文を書く意味、文章の書き方などを記した「卒業論文マニュアル」を参考に、自由なテーマで研究した成果をまとめ、仕上げます。夏休みにテーマを考え、3学期から本格的に取り組み、ipadを活用して情報を集めたり、図書館で必要な本や資料を探して、まとめていきます。中にはクラスメイトにアンケートを配布して結果を集計したり、関係のある施設に行ってインタビューしたり、何度も作業を繰り返して、そこから見えてくるパターンを考察する生徒もいました。

社会情勢・歴史上の人物・職業などの自由なテーマ

先生は「単なる調べ学習にとどまらないように、様々な文献の情報を組み合わせて新しい知見を得る力を身に付けさせることを意識して指導しています」と話します。

大学

稽古の成果を披露 英語落語発表会

国際英語学科の学生が授業で学んだ英語落語を披露する「第10回英語落語発表会」を2月14日（火）に開催しました。上方落語界きっての英語落語の演者として知られる桂かい枝客員教授の指導を受け、稽古を積んだ3、4年生が身振り手振りを交えて、表情豊かに演じました。また、昨年から樟蔭中学生・高校生も出演しており、校内の「英語小咄コンテスト」の優秀者2人が高座に上がり、会場に大きな笑いを運びました。当日はJ:COMと読売新聞の取材を受けました。

文学館

田辺聖子文学館が共同展示 「3.11 文学館からのメッセージ」に参加

全国30の文学館で開催される共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」（全国文学館協議会主催）に田辺聖子文学館も参加し、企画展「田辺聖子と被災地伊丹」を開催しました。伊丹市在住の田辺聖子さんは1995年の阪神淡路大震災で被災。今回の企画展では田辺さんの震災記「ナンギやけれど……」をはじめとするエッセイなどとともに、伊丹市（伊丹市立図書館ことば蔵）所蔵の貴重な資料などを展示しました。展示の様子はFMいたみでも紹介されました。

大学

袴プリンセスが春の交通安全に一役

香芝警察一日署長を務めた●●●●さん

昨年の大学祭（第66回くすのき祭）で行われた袴コンテストで優勝・準優勝した学生が4月10日（月）、近鉄河内小阪駅前で自転車のマナーアップキャンペーン（布施警察署、布施交通安全自動車協会主催）に参加しました。2人は児童学部4年生の●●●●さんと▲▲▲▲▲さん。伝統の深緑色の袴姿でチラシや啓発グッズを乗降客に配り、交通ルールの順守を呼び掛けました。毎日新聞、J:COM、週刊ひがしおおさかの取材に「猛スピードの自転車に怖い思いをすることがある。大学でも学生1人ひとりがルールとマナーを守るよう呼びかけたい」と笑顔で応えていました。
また、●●さんは春の交通安全運動が始まった6日（木）、香芝警察署の一日警察署長を務め、交通安全を呼び掛けました。

※学年は受賞当時を記載

吹奏楽のソロコンテストで大活躍

左から●●●●さん（高2）と、▲▲▲▲▲さん（中3）

2月26日（日）、大阪音楽大学（豊中市）で開催された「第21回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト関西大会」（日本吹奏楽指導者協会関西支部主催）で中学3年の▲▲▲▲▲さん（フルート）、高校2年の●●●●さん（アルトサックス）がともに優良賞を受賞しました。厳しい予選を上位成績で突破し、関西大会へ駒を進めた2人。▲▲さんはC.シュターミッツ作曲「フルート協奏曲」を、●●さんはP.イトゥラルデ作曲「小さなチャルダッシュ」を表現力豊かに演奏しました。

樟蔭学園が高校英語教科書に取り上げられています

児童学科の菅正隆教授が手掛けた「NEW ONE WORLD コミュニケーション英語Ⅱ」（共著、教育出版）が高校2年生の教科書として文部科学省の認可を受けました。NHK連続テレビ小説「マッサン」の主人公でニッカウヰスキー創業者、竹鶴政孝さんの妻・竹鶴リタさんを大きく取り上げています。本文中では＜She also began to work at Shoin Girls' High School in Osaka.＞と本学の高等女学校で英語を教えていたリタさんの生き方を紹介しています。この教科書は来年度から全国で毎年約5万人以上の高校生が使用し読むことになります。

バトントワリング部が世界大会に出場します

3月24日（金）～26日（日）、いしかわ総合スポーツセンター（金沢市）で行われた「第42回全日本バトントワリング選手権大会」（日本バトン協会主催）で中学校・高校のバトントワリング部が２位となり、世界大会出場の切符を手に入れました。それぞれが持てる力を発揮し、素晴らしい演技を披露した結果です。バトントワリング部は８月にクロアチアで行われる世界大会に向けて練習に励んでいます。応援をよろしくお願いします。

受賞・祝辞 Congratulations

秋のフォトコンテスト　高校2年の●さんが奨励賞

●●●●●さん

「秋のフォトコンテスト2016」（大阪府高等学校芸術文化連盟主催）で高校2年の●●●さんの作品「陰翳（いんえい）」が奨励賞を受賞しました。

作品は夕刻の鶴見緑地公園で撮影。もともとカラーで撮影した写真をモノクロにし、より陰影を際立たせたそうです。

写真部部長を務める●さんは「部員のみんなに撮影した100枚近くの写真を見てもらい、好評だったこの作品を出品しました」と話します。表彰式は1月29日（日）、「エル・おおさか」（大阪市中央区）で行われ、作品が展示されました。

●さんの作品「陰翳（いんえい）」

化粧学専攻美容コースの●●さんがヘアコンテストでW受賞

2月20日（月）に開催された「アイム・キンキヘアコンテスト 2017」（アイム・キンキ理容美容専門学校主催）のワインディング種目で被服学科（現：化粧ファッション学科）化粧学専攻美容コース2年生の●●●●●さんが優勝。理美容教育出版株式会社賞も獲得し、ダブル受賞となりました。この種目では2年生の▲▲▲▲さんが入賞、2年生の■■■■さんが敢闘賞を受賞しました。

左から美容コース2年生・■■■■さん、●●●●●さん、▲▲▲▲さん

2016年度 学生表彰

学業や課外活動等において顕著な成績を収め、他の学生の範となった学生に対し、その功績を讃えました。学業優秀者表彰では森平蔵賞が10人に、学業奨励賞が67人に贈られ、課外活動等表彰では学長賞が17団体と、個人4人に贈られました。

1 学業優秀者表彰

学業において研鑽に励み、他の学生の範となった個人を表彰します。

森平蔵賞（2017年3月卒業生）　在学中の学業成績が評価

◎●●●●（大学院・臨床心理）　◎●●●●（大学院・化粧ファッション）　◎●●●●（国文）　◎●●●●（国際英語）　◎●●●●（健康栄養）
◎●●●●●（被服）　◎●●●●（ライフプランニング）　◎●●●●●（心理）　◎●●●●（臨床心理）　◎●●●●（児童）

学業奨励賞　2016年度中の学業成績が評価　※（　）内は2016年度の年生を記載

◆ 国文
●●●(1)　●●●●(1)　●●●●(2)
●●●●(2)

◆ 国文/国語・国文学コース
●●●●(3)　●●●●(4)

◆ 国文/創作表現コース
●●●●●(3)　●●●●(4)

◆ 国文/キャラクター文芸コース
●●●●(3)　●●●●●(4)

◆ 国際英語
●●●(1)　●●●(2)　●●●●●(3)
●●●●(4)

◆ 健康栄養/管理栄養士専攻
●●●●(1)　●●●(1)　●●●●(1)
●●●(2)　●●●●(2)　●●●●(2)
●●●(3)　●●●●(3)　●●●●(4)
●●●●(4)

◆ 健康栄養/食物栄養専攻
●●●●●(1)　●●●●●(2)　●●●(3)
●●●●(4)

◆ 化粧ファッション/被服学専攻
●●●●(1)

◆ 被服/被服学専攻
●●●●(2)　●●●●(3)　●●●●(4)

◆ 化粧ファッション/化粧学専攻・化粧文化コース
●●●●●(1)

◆ 被服/化粧学専攻・化粧文化コース
●●●●●(2)　●●●●(3)　●●●●(4)

◆ 化粧ファッション/化粧学専攻・美容コース
●●●●(1)

◆ 被服/化粧学専攻・美容コース
●●●●(2)　●●●●(3)　●●●●(4)

◆ ライフプランニング
●●●●(1)　●●●●(1)　●●●●(2)
●●●●(3)　●●●●●(4)

◆ 心理
●●●●(1)　●●●●(1)　●●●●(2)
●●●●(2)　●●●●(3)　●●●●(4)

◆ 臨床心理
●●●●●(3)　●●●●(4)

◆ 児童
●●●●(1)　●●●●(1)　●●●●(1)
●●●(1)　●●●●(2)　●●●(2)
●●●●●(2)　●●●●(2)　●●●●(3)
●●●●●(3)　●●●●(3)　●●●●(4)
●●●●●(4)　●●●●(4)

2 課外活動等表彰

課外活動において優秀な成績を収めた個人または団体を表彰します。　※（　）内は2016年度の年生を記載

学長賞　個人

●●●●●（ライフプランニング１年生）
【理由】2016年度「男女共同参画社会に向けて ひとことメッセージ」一般の部で優秀な成績を収めました。

●●●●●（ライフプランニング２年生）
【理由】新体操の国内大会で優秀な成績を収めました。

●●●●●（児童２年生）
【理由】新体操の国内大会で優秀な成績を収めました。

●●●●●（ライフプランニング３年生）
【理由】新体操およびAGGの国内・国際大会で優秀な成績を収めました。

学長賞　団体

●ノートテイカー
●●●●●●●●●●●●●●●●●●（ライフプランニング4年生）
●●●（ライフプランニング3年生）
【理由】聴覚障がいのある学生が授業を受ける時のサポーターとしてノートテイクを行いました。

●グリムプロジェクト2016
●●●●（児童4年生）
●●●●●（児童3年生）
【理由】香芝市との協働事業「グリム絵本館」の活動を中心に、東大阪市や和歌山県かつらぎ町で地域の子育て支援を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●ＫＳＫ10子どもが集まる商店街
●●●●●●●●●●●●●●●●●●（ライフプランニング4年生）
●●●●（ライフプランニング2年生）
【理由】地元小阪商店街でのイベントの企画・運営を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●ヤング・ジャパニーズ(YJ)
●●●●（心理4年生）
●●●●（心理2年生）
【理由】「ダンス」と「歌」を通し、地域の子どもたちの育成活動を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●かつらぎ町健康レシピ作りプロジェクト
●●●●（健康栄養4年生）
【理由】和歌山県かつらぎ町での健康増進事業に参画し、地域課題の改善を目的に活動を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●お聖さんとゆかいな仲間たち
●●●●（国文4年生）
●●●●●（国文2年生）
【理由】田辺聖子氏や田辺聖子文学館の認知度を学内外に高め、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●マナープロジェクト　Neige(ネージュ)
●●●●●（ライフプランニング2年生）
【理由】本学学生のマナーを充実させるためのプロジェクトに参加し、学生のマナーに対する意識を高めることに貢献しました。

●Team Shoin
●●●●（ライフプランニング3年生）
【理由】AGG世界選手権にTeam Shoinとして出場し、優秀な成績を収め、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●キャンドルナイト
●●●●（ライフプランニング2年生）
【理由】1000000人のキャンドルナイトへの参加や東大阪市民美術センターで作品展示を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●知るも知らぬも百人一首
●●●●（国文2年生）
【理由】田辺聖子氏の「小倉百人一首」にならい、学内外に対しイベントを開催し、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●ミックスジュース
●●●●（健康栄養2年生）
【理由】門真市と連携して「親子環境学習プログラム」を企画・実践し、地域課題の解決に向けた活動を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●MANARUN（マナルン）
●●●（児童1年生）
【理由】門真市と連携して「小学生体験学習プログラム」を企画・実施し、地域課題の解決に向けた活動を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●エムスリー
●●●●（児童2年生）
【理由】門真市と連携して「小学生体験学習プログラム」を企画・実施し、地域課題の解決に向けた活動を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●くっきんぐ・らぼ
●●●（健康栄養1年生）
【理由】門真市と連携して「小学生体験学習プログラム」を企画・実施し、地域課題の解決に向けた活動を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●クリスマスのお届けもの
●●●●●（児童3年生）
【理由】門真市と連携して「小学生体験学習プログラム」を企画・実施し、地域課題の解決に向けた活動を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●わくわく学校
●●●●（児童1年生）
【理由】門真市と連携して「小学生体験学習プログラム」を企画・実施し、地域課題の解決に向けた活動を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

●香芝市ブランド創出プロジェクト
チーム名：Freedom
●●●●（ライフプランニング3年生）
【理由】香芝市での産学連携推進事業に参画し、地域課題の解決に向けた活動を行い、課外活動の充実と振興に貢献しました。

◎ 各種団体による表彰（2017年3月卒業生）

●全国栄養士養成施設協会　●●●●（健康栄養）　●●●●（健康栄養）
●日本衣料管理協会（１級）　●●●●（被服）
●日本精神保健福祉士養成校協会　●●●●（臨床心理）
●日本フードスペシャリスト協会　●●●●（健康栄養）
●美容師養成施設（大阪府知事）　●●●●（被服）
●全国保育士養成協議会　●●●●●（児童）

大学 演劇部

元気いっぱいの演劇部の部員

東大阪市民ふれあい祭りでの公演

みんなで舞台を作り上げる楽しさ

大学の演劇部は部員数こそ少ないものの、みんな和気あいあいで元気いっぱいに活動を続けています。部長の●●●●●さん（児童学科3年生）は「私たちの部のコンセプトは『演劇を楽しもう!』全員で力をあわせひとつの舞台を作り上げる楽しさがあります」と言います。

手作りした小道具

部長の●●●●●さん（児童学科３年生）

部員数は3年生3人と2年生2人のあわせて5人。中学、高校の演劇部出身者もいますが、まったくの初心者もいます。声優を目指していたり、演技力を上げたい、裏方の舞台芸術や脚本家に関心がある人など入部のきっかけはさまざま。でも、よりよい舞台をつくりたいという思いはみんな同じ。稽古が始まるとその集中力は高まり、真剣そのものです。

恒例の公演は東大阪市民ふれあい祭り（5月）のほか、学内公演（7月）、くすのき祭（10月）の年3回。公演に向けて、まず脚本の創作から始めます。自分の役の練習以外にも衣裳や演出を考え、大道具・小道具の作製などやるべきことがたくさんあって忙しくなってきます。みんなでアイデアを出しあいながら少しずつ形にしていくのは大変だけど面白さがあります。今年の東大阪市民ふれあい祭り（5月14日開催）では童話「赤ずきん」「三匹の子ぶた」「おおかみと七ひきのこやぎ」をミックスした創作パロディ「赤ずきんのお留守番」を披露。子どもたちがすごく喜んでくれて、一生懸命稽古した甲斐がありました。

◆納得できる舞台作りを目指し

お客さんの反応を肌で感じることができるのが演劇の一番の魅力。視線を浴びて舞台に立つ緊張感と、本番後に味わう達成感は何ものにも代え難いですね。自分ではない、いろんな役になり切るのがとても楽しいです。

学内公演時のスナップ

もちろん課題もあります。役や演出の幅を広げるため、もう少し部員を増やしたいこと、そして部員がそれぞれアドリブ力をアップさせること。次の公演に向け、新たに即興劇の練習を取り入れ、納得できる舞台づくりを目指しています。

舞台で稽古する部員たち

「赤ずきんのお留守番」の台本（創作パロディ）

◆演劇部から学生の皆さんへ

演劇は自分を成長させてくれます。舞台に立つと度胸がつき、多くの人前でプレゼンテーションやスピーチができるようになっていきます。保育士や幼稚園、小学校の先生を目指す児童学科の学生には大きな声を出すことが大切ですよね。堂々と子どもたちの前に立つ練習としても役立ちます。脚本づくりはお遊戯を考える際のヒントにもなります。さあ、演劇部へ。初心者も大歓迎ですよ!

Check!
演劇部は
毎週火曜日と金曜日の午後6時から
円形ホールで練習しています。

WingBEAT! ～はばたくSHOIN GIRL～

準優勝（当時高校1年生）

伝統の袴で、百人一首大会に挑戦!

樟蔭高等学校２年 ●● ●●●さん

2月2日（木）、3日（金）、毎年恒例の百人一首大会が行われ、当時高校1年生だった●●●●●さんは、熱戦の末、見事ファイナリストに。4月からは2年に進級し、百人一首にも学業にも真剣に取り組みながら、いきいきとした高校生活を送っています。

■叔母の袴で参戦

●●さんと百人一首の出合いは、小学5年の時。学校でのかるた取り大会のために歌を覚えたのが始まり。「樟蔭中学に入って、百人一首大会があることを知り、再び興味を持ちました。小学校のころにある程度は練習しましたが、全部覚えたわけではないので、一から覚え直しました」

大会に出たいと思ったもうひとつの理由は、袴を着たかったこと。「卒業生の叔母から袴をもらったので、着る機会を増やしたいと思いました」。予選で勝ち残った生徒が伝統の袴姿で真剣勝負に臨むのは、樟蔭の百人一首大会ならでは。大会の場をきりりと引き立てます。

■百人一首は学年を超えて楽しめる

箏曲部の演奏で始まった予選は約50人が参加。決戦は、予選を勝ち上がった上位8人による1対1の対戦となりました。「決戦ではふだん関わりがない先輩や後輩と知り合えるのが楽しみ。対戦相手が強いと、もっと上手くなろうと思います。これまで、同じ先輩に2年続けて負かされ、優勝を逃してきました。その先輩はもう卒業されました。一度は勝ちたかったなあ」

図書委員の審判が見守る中、真剣勝負（当時中学3年生）

樟蔭の中学校・高校では、全ての歌を覚えることは、冬休みの課題にもなっています。「中学では1年生で50首。2年生で残りの50首。3年は100首すべてを覚えて、冬休み明けのテストに臨みました。上の句を見て下の句を当てる問題のほか、歌の意味や文法についての問題もありました」

■好きな和歌は「せをはやみ」

百人一首は「下の句を見て、すぐに上の句が思い出せるか」がポイントです。樟蔭の百人一首大会では、最初の5分間で50枚の札の置いた場所を覚えます。

「この5分間はとても集中します。ゲームの途中でどんどん変わっていく札の位置を覚えるのが大変。強い人は札の位置を覚える記憶力がすごいんです。好きな札は一文字読まれただけで、どの札かが分かる『一枚札』の7首です。例えば、崇徳院の『せをはやみ』（※）の札は、『せ』の一文字だけで取れる札。これがさっと取れると嬉しいです」

■卒業までに、ぜひ優勝を!

最後に勉強は？　そう尋ねると得意科目は物理と数学。国語は意外にも苦手だと言います。理系クラスに所属し、大学では工学分野の研究をしたいと考えています。百人一首で養った集中力と戦略的な思考力が、理系の勉強にプラスになっているのかもしれません。目標は「たぶん3年生になると勉強で忙しくなります。だから2年生の間に、大会で優勝しておきたいですね!」

トロフィーを受け取る●●さん

（※）瀬をはやみ　岩にせかるる滝川の　われても末に逢はむとぞ思ふ（崇徳院）

Information

～樟蔭学園は創立100周年～

記念式典・祝宴・祝賀会を開催します。

日時：2017(平成29)年10月28日(土)
会場：リーガロイヤルホテル(大阪市北区)
※詳しくは同封の「事業ニュース5」をご覧下さい。

若葉祭(文化祭)中学校・高校
「百 ～奇跡 × 軌跡～」
10月1日(日) 10:00～
お問い合わせ―中高幼事務室
TEL：06-6723-8185

第67回くすのき祭 大学・大学院
「Anniversary ～未来につなぐ100年の軌跡～」
10月21日(土)、22日(日) 10:00～
お問い合わせ―キャンパスライフサポート
(学生支援課) TEL：06-6723-8279

第30回 樟蔭ファッションセミナー

申込不要 受講料無料

「ドラマティックコラボレート Beyond kimono とは」

小林栄子さん(美･JAPON理事長/コスチュームデザイナー)が着物の魅力を紹介します。

日 時	7月16日(日) 16:00～17:30
定 員	200名

主催／お問い合わせ　化粧ファッション学科 TEL：06-6723-8227

SHOIN子育てカレッジ2017

児童学科は毎年、地域のお子さんと子育て中の保護者を対象に親子で楽しめる様々なイベントを企画しています。

申込不要 受講料無料

日 時	7月9日(日)10:30～15:30
定 員	1000名

主催／お問い合わせ　児童学部研究事務室 TEL：06-7507-1472

幼稚園の園庭開放

「子育て支援事業」の一環として、地域の未就園の子どもたちを対象に園庭開放を行います。毎月テーマを設けて、ご家庭ではなかなか経験できないような楽しい遊びを企画しています。(ミニ子育て相談会もあります)

日時	6月17日(土)･28日(水)、7月4日(火)･22日(土)、8月26日(土)、9月16日(土)･25日(月) いずれも10:00～12:00 9月は入園説明会も行います
対象	0～4歳までの未就園のお子さまと保護者 (事前に申し込みが必要です)

●費用：無料　定員：限定50名

申込 & お問い合わせ　大阪樟蔭女子大学附属幼稚園
TEL：06-6723-8189
http://www.osaka-shoin.ac.jp/kg

田中愛子の楽しいクッキング・レッスン

～食卓の上のフィロソフィーを考えて～

季節の恵みをたっぷり楽しむお料理は心と体を癒やします。

秋の日本行楽弁当
(メニューは三色ご飯、吹き寄せ宝楽焼き、柿とほうれん草のゴマあえ、小豆の蒸しまんじゅう)

日 時	申込締切	定 員	受講料
9月11日(月) 10:30～13:30	8月23日(水)	20名	3500円

●講師 田中愛子教授
●主催：ライフプランニング学科

●申 込 方 法：大学ホームページまたはFAXにて①住所②氏名(フリガナ)③年齢④性別⑤電話番号⑥FAX番号⑦参加希望講座名をご記入のうえ、下記までお申込ください。
●お問い合わせ：くすのき地域協創センター　TEL:06-6723-8237　FAX:06-6723-8302
URL:http://www.osaka-shoin.ac.jp/event/

◉おしらせ◉
本年のホームカミングデーは延期します。
次年度合同で開催する予定です。

クラブ活動報告

2017年1月1日～4月20日　※学年は受賞当時を記載

中学校・高等学校

■バトントワリング部

<中学校・高校>

●大阪市体育協会会長杯第9回バトントワーリング競技大会(1/28)
・個人　ソロトワール中学校3年生　第2位 ●●●●
トゥーバトン中学校1年生　第3位 ●●●●
ソロストラット中学校3年生　第1位 ●●●●
第3位 ●●●
ソロストラット中学校2年生　第2位 ●●●●●
第3位 ●●●●
ソロストラット中学校1年生　第3位 ●●●●
スリーバトン中学校2年生　第1位 ●●●●
ダンストワール中学校2年生　第3位 ●●●●
ソロトワール高等学校1年生　第3位 ●●●●
トゥーバトン高等学校1年生　第1位 ●●●●
第3位 ●●●●●
ソロストラット高等学校2年生　第3位 ●●●●
スリーバトン高等学校2年生　第2位 ●●●●
・ペア　高等学校1年生　第1位 ●●●●●
●●●●●
高等学校2年生　第1位 ●●●●
高等学校3年生　第2位 ●●●●・●●●●

●第42回全日本バトントワーリング選手権関西大会(2/12)
・団体　フリースタイルチーム 第3位
グループ　第3位
・個人　ソロトワールU-15　第2位 ●●●●(中3年)
スリーバトンU-15　第2位 ●●●●(中2年)
ソロストラットU-15　第1位 ●●●●(中3年)
ダンストワールU-15　第1位 ●●●●(中3年)
第3位 ●●●●(中2年)
アーティスティックトワール女子Jr
第2位 ●●●●(中3年)
・ペア　女子U-18　第3位 ●●●●●(高1年)
●●●●●(高1年)

●第42回全日本バトントワーリング選手権大会(3/24～3/26)
・団体　フリースタイルチーム 第2位 ※世界大会出場権獲得
・個人　ソロストラットU-15　第2位 ●●●●(中3年)
ダンストワールU-15　第3位 ●●●●(中3年)
トゥーバトン女子シニア　第2位 ※世界大会出場権獲得
●●●●(高1年)

■ダンス部

<中学校>

●第6回ダンス･ガラOSAKA(3/19)
・創作コンクール部門　中学生作品の部　最優秀賞

<高　校>

●2017 DANCE Festival vol.11(1/21)
・出場
●第37回大阪府高等学校芸術文化祭開会行事(1/28)
・出演
●第6回ダンス･ガラOSAKA(3/19)
・創作コンクール部門　グループ作品の部　出場
●第10回日本高校ダンス部ダンス部選手権 新人戦 西日本大会(3/30)
・スモールクラス　優秀賞受賞(4位～8位)

■新体操部

<中学校>

●第7回新体操樟蔭カップ(3/27～3/29)
・団体　クラブ5　3位
●AGG2017ワールドカップ大会(イタリア･バドウバ)(3/29～4/2)
・団体　世界5位

<高　校>

●テレビ信州杯第21回長野カップ新体操選手権大会(1/7～1/9)
・団体フープ出場
●全国高等学校新体操選抜大会(3/20～3/22)
・団体　12位
・個人　20位　●●●●(3年)
●舞洲カップ　近畿大会(3/27)
・個人3人組 5位 クラブ　●●●●(3年)、
フープ　●●●●(3年)、リボン　●●●●(3年)

■バスケットボール部

<中学校>

●第51回東大阪市市民体育大会
(中学1年生の部1/7～1/10、決勝リーグ1/22･1/28)
・団体　決勝リーグ　優勝
・中学1年生の部　優勝
●第21回東大阪カップ(2/11･2/12)
・団体　2位トーナメント　優勝
・個人　ベスト5　●●●●(1年)　優秀選手　●●●●(1年)
●第20回大阪府私立中学校総合体育大会(3/20･3/30･3/31)
・女子バスケットボール　準優勝

■ソフトテニス部

<高校>

●平成29年度東大阪市高等学校市民体育大会(4/1)
・個人戦　優勝　●●●●(1年)･●●●●(1年)

■バドミントン部

<高校>

●第64回大阪高等学校バドミントン選手権大会(1/7～1/21)
・シングルス　3回戦進出
・ダブルス　3回戦進出

■書道部

<高校>

●第60回全国書きぞめ作品展覧会(1/21)
東大阪市長賞　●●●●●(2年)
研究会賞　●●●●●(2年)
特選　●●●●(2年)　●●●●(2年)
入選　●●●●(2年)　●●●●(2年)

■箏曲部

<高校>

●第37回大阪府高等学校芸術文化祭(1/29)
・日本音楽部門　出演

■吹奏楽部

<中学校・高校>

●管弦打楽器ソロコンテスト 大阪地区大会(1/30)
・フルート　金賞(代表)
●●●●●(中3年)C.シュターミッツ作曲「フルート協奏曲」
・アルトサックス 金賞(1位)
●●●●(高2年)P.イトゥラルデ作曲「小さなチャルダッシュ」
・マリンバ　金賞
●●●●(高2年)A.ゴメス作曲「レインダンス」
●管弦打楽器ソロコンテスト 大阪大会(2/12)
・アルトサックス 金賞(1位)
●●●●(高2年)P.イトゥラルデ作曲「小さなチャルダッシュ」
●管弦打楽器ソロコンテスト 関西大会(2/26)
・フルート　優良賞
●●●●●(中3年)C.シュターミッツ作曲「フルート協奏曲」
・アルトサックス 優良賞
●●●●(高2年)P.イトゥラルデ作曲「小さなチャルダッシュ」

大　学

■新体操同好会

●第3回AGG Japan Cup(3/18)
・1位　Team Shoin
●第7回新体操樟蔭カップ(3/27～3/29)
・総合優勝　● ●●●(ライフプランニング学科)
・総合2位　●●●●(ライフプランニング学科)
・総合3位　●●●●(児童学科)

FORUM

● 皆様とのコミュニケーションスペース

新任教員紹介

※ホームページでは写真は公表しておりません

(順不同)

化粧ファッション 教授 **杉田 慶子** (すぎた　けいこ)
建学の精神を体現できる女性の育成と、学園の更なる発展に微力ながらお役にたちたいと存じます。

化粧ファッション 教授 **渡邊 正人** (わたなべ　まさと)
「一意専心」の学びで身につけた知識は一生の宝です。学びで知ることの喜び、出来ることの楽しさを伝えて参ります。

健康栄養 教授 **開道 貴信** (かいどう　たかのぶ)
解剖生理学は将来、人のからだに関わる学生にとって大切です。医師の経験を活かし工夫した授業をします。

健康栄養 教授 **黒川 通典** (くろかわ　みちのり)
地域社会と連携し、学生に管理栄養士の素晴らしさを伝えていくことが目標です。よろしくお願いいたします。

ライフプランニング 准教授 **工藤 春代** (くどう　はるよ)
授業や演習を通して、自分の問いを持ち、答えを見出していく楽しさを伝えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

ライフプランニング 准教授 **佐藤 静** (さとう　さやか)
歴史と伝統のある大阪樟蔭女子大学の教員として、学生がより豊かな人生を送れるよう教育活動に励みます。

化粧ファッション 准教授 **松下 戦具** (まつした　そよぐ)
学生から「この先生がいる大学に来て良かったな」と思ってもらえるよう頑張りたいと思います。

児童 准教授 **北村 瑞穂** (きたむら　みずほ)
子どもの発達と援助、教育心理学などを担当します。発達の面白さや子育て支援の大切さを伝えていきたいです。

化粧ファッション 講師 **小出 治都子** (こいで　ちとこ)
学生に「楽しい」「面白い」と感じてもらえる講義を心がけたいと思います。よろしくお願いいたします。

健康栄養 講師 **稲垣 秀一郎** (いながきしゅういちろう)
祖母が樟蔭出身者であり、深いご縁を感じております。微力ながらお力になれるよう努力いたします。

健康栄養 講師 **岡本 尚子** (おかもと　なおこ)
専門知識だけでなく様々なことに興味をもった向学心のある学生を育てるために、学びの楽しさを伝えられるような授業にしたいと思います。

国文 助教 **富田 愛佳** (とみた　あいか)
大学で学ぶための書く力を磨くことで正確に読む力や考える力を養い、学びの土台作りができれば幸いです。

中高　国語科 常勤講師 **猪野 智子** (いの　ともこ)
教師としての自覚を充分に持ち、向上心を忘れず、生徒と共に成長していけるよう精進して参ります。

中高　国語科 常勤講師 **高津 佳史** (こうず　けいじ)
今年度お世話になります、高津佳史と申します。国語を担当しますので、生徒に読む楽しさを感じてもらえるよう頑張ります。

学園事務局 国際交流室係員 **Fras Polona** (フラス　ポロナ)
留学を考えている学生を全力でサポートしていきたいと思います。留学の相談だけではなく、英語の学習方法も教えます。よろしくお願いします。

人　事

退職 (2017.3.31付)

●大学／教員
石蔵 文信
大江 米次郎
小野寺 香
加藤 卓哉
川瀬 豊子
瓦家 千代子
ジョージ シャーフ
末廣 祥二
塚口 眞佐子
徳永 正直
仲谷 兼人
武藤 祐子

●中学校・高校／教員
三藤 亮介
高木 秀真

藤井 蓉子
堀　貴美子
山田 佳奈

●学園事務局／職員
高橋 重樹

●大学／職員
糸野 泰輔 (2017.1.31付)
佐々木 傑三
竹内 さおり
三輪 貴子

任用(再任除く)

●理事
杉野 博章

●顧問
前川 文夫

●役職
高校／教頭
後藤 紀博

異動 (2017.4.1付)

●学園事務局／職員
●学園事務局長
高田 修
●大学事務局長兼百周年記念事業本部本部長補佐
杉野 博章
●英語教育センター長兼国際交流室室長(部長待遇)
山岡 賢三
●国際交流室
長濱 五月
●総務部長
原野 雅一
●総務部人事課 係長
瀧川 雅之
●入試広報部入試広報課 課長代理
神﨑 順子
●入試広報部入試広報課
安井 知香
●大学事務部長代理(企画部担当)
吉田 敏之
●企画部企画課 課長
坪田 玲子
●企画部企画課係長
明石 真由美
●企画部企画課
占部 敬士
稲見 真理
●教育開発部修学支援課 課長
井貝 正世
●大学事務部長(地域連携支援部・学生支援部担当)
粂 幹夫

役職変更

●学園事務局／職員
●大学事務部長代理(教育開発部担当)兼教育開発部教育企画課課長
下山 貴宏
●総務部中高幼事務室事務長(課長待遇)
宮辻 幸仁

昇格・昇進

●学園事務局／職員
<昇格>
●事務局長
杉野 博章
(大学事務局長兼百周年記念事業本部本部長補佐)
●部長代理
大江 重治
(経営戦略室室長兼経営企画課課長)
●課長代理
神﨑 順子
(入試広報部入試広報課課長代理)
<昇進>
●係長
岡本 真季
(総務部人事課係長)
瀧川 雅之
(総務部人事課係長)
川瀬 優子
(財務部経理課係長)
淺岡 紗代
(入試広報部入試広報課係長)
明石 真由美
(企画部企画課係長)
池田 良子
(教育開発部修学支援課係長)
石嶺 陽子
(学生支援部キャリアセンター係長)

寄付金応募へのお礼

この度、多くの皆様から寄付へのご応募を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。皆様からの温かいご支援を励みに、教職員一同で今後ともより良い学園づくりに努めて参ります。

●寄付者のご芳名(敬称略・順不同)
※2017年1月1日～2017年4月21日までに、「中学校・高校教育環境設備寄付金」にご寄付いただいた方を掲載しています。以降につきましては、次回号に掲載予定です。

【高額寄付者】
(高校)

【寄付者】
(中学校)

※ホームページでは寄付者の芳名を公表しておりません

(高校)

学園を支えてくださる皆様へ

次世代にも誇れる学園として更なる飛躍を遂げるため、皆様からの温かいご支援をお願いいたしたく、寄付金にご協力くださいますようお願い申し上げます。
寄付制度の詳細につきましては、100周年記念事業本部へお問い合わせください。

●問い合わせ窓口●
100周年記念事業本部
TEL:06-6723-8152
FAX:06-6723-8263

学校法人樟蔭学園の2016(平成28)年度の決算概要

学校法人樟蔭学園の2016(平成28)年度の決算について、
「資金収支計算書」「活動区分資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」それぞれの概略を、
「学校法人会計の概要」説明を含め報告いたします。
なお、樟蔭学園のホームページにおいても、財務状況について開示しております。
http://www.osaka-shoin.ac.jp/disclosure/finance/

(1)学校法人会計の概要

学校法人の作成する計算書類等の内容がより一般にわかりやすく、社会から一層求められている説明責任を的確に果たすことができるものとし、学校法人の適切な経営判断に一層資するものとするという考え方から、学校法人会計基準が2015年4月より改正されました。

学校法人の決算書は「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」の3つの財務諸表で構成されていますが、その内の消費収支計算書が、「事業活動収支計算書」に変更されました。

また、資金収支計算書及び貸借対照表については、若干の科目の変更がされ、新たに「活動区分資金収支計算書」を作成することとなりました。

「資金収支計算書」は、当該会計年度(4月1日～3月31日)の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにします。

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書の決算額を、3つの活動(教育活動・施設整備等活動・その他の活動)ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにします。

教育活動による資金収支により、キャッシュベースでの本業である教育活動の収支状況を見ることができ、施設整備等活動による資金収支により、当該年度に施設設備の投資が行われたか、その財源はどうであったかを見ることができます。その他の活動による資金収支では、借入金の収支・資金運用の状況等主に財務活動を見ることができます。

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度の活動(教育活動・教育活動外・特別)に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の均衡の状態を明らかにします。また、基本金組入後の収支状況に加えて、基本金組入前の収支状況も表示します。

事業活動収入は、従前の帰属収入に相当し、学校法人に帰属する負債とならない収入をいい、事業活動支出は、従前の消費支出に相当し、当該会計年度において消費する資産の取得価額及び当該会計年度における用役の対価等になります。

事業活動収支において、経常的な収支バランスを表す「教育活動収支」と「教育活動外収支」、臨時的な収支バランスを表す「特別収支」を設定しており、当年度の収支バランスの改善又は悪化の原因が経常的なものか、その年度限りの臨時的な要素によるものか判断できます。

事業活動収入から事業活動支出を控除した額「基本金組入前当年度収支差額(従来の帰属収支差額)」から、固定資産を取得するための支出や積立金などで構成される基本金組入額を控除して、当該会計年度の収支の均衡状態を「当年度収支差額」で表します。

「貸借対照表」は、学校法人の資産・負債・純財産(正味財産)を把握し、財政状態を明らかにした、長期的な運営の方向性を決めるための財務諸表です。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度ごとの状況を表す一方、貸借対照表は、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。企業会計と同じく、借方に資産、貸方に負債・純資産を計上し、企業会計の貸借対照表と構造は似ています。

学校法人の収支状況を見るには、事業活動収支計算書の「基本金組入前当年度収支差額」に注目します。

この収支差額とは、事業活動収入から事業活動支出を差し引いたもので、企業会計でいう収益から費用を差し引いた利益に相当するものであります。

しかし、学校法人は一般の企業に比べ極めて公共性が高く、安定した経営を維持して行く必要があるため、この利益は利潤ではなく、学校の施設設備等の取得財源や借入金の返済財源となるものです。つまり、基本金組入前当年度収支差額によって、当該年度の施設設備等の充実、借入金返済、将来の施設設備の更新等のための引当特定資産等の充実が行われることとなります。

そして、学校法人会計基準は、その財源(学校法人を継続的に維持すべき財源)に充当すべき額を基本金とし、事業活動支出に充てる前の事業活動収入のうちから控除して組入れる(確保する)こととなっています。

基本金組入前当年度収支差額がプラスの場合は、当該年度において自己資金が確保されていることを表し、マイナスの場合は、事業活動収入で事業活動支出を賄えない状態であり、基本的には過年度において蓄積された自己資金を食い潰すか、借金をしない限り経営が成り立たないことを示しています。ただ、収支状況は単年度のみを見るだけでは判断出来ませんので、過去数年間の傾向や今後の収支の予測を考慮する必要があります。

一般の企業の経営が利益追求を目的としているのに対して、学校法人の経営は長期安定的に教育・研究活動を継続することに主眼がおかれています。学校法人の財務諸表は、学校が、教育・研究活動の質的向上を図りながら、いかに安定的な余裕資金を維持し、資産を形成しているかという視点で見ることが重要であります。

(2)決算の概要(前年度決算との対比)

1.資金収支計算書 (2016年4月1日から2017年3月31日まで)

(単位 千円)

科目	2016年度決算額	2015年度決算額	増減	備考
収入の部				
学生生徒等納付金収入	3,540,530	3,500,426	40,104	
手数料収入	59,232	57,060	2,172	
寄付金収入	68,749	86,686	△ 17,937	
補助金収入	971,723	1,157,363	△ 185,640	
資産売却収入	1,336,275	368,594	967,681	
付随事業・収益事業収入	32,067	35,050	△ 2,983	
受取利息・配当金収入	33,003	51,443	△ 18,440	
雑収入	142,998	110,023	32,975	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	291,091	292,893	△ 1,802	
その他の収入	392,357	489,514	△ 97,157	
資金収入調整勘定	△ 585,133	△ 611,532	26,399	
前年度繰越支払資金	929,659	968,243	△ 38,584	
収入の部合計	7,212,551	6,505,763	706,788	
支出の部				
人件費支出	3,004,520	2,888,495	116,025	
教育研究経費支出	834,877	794,216	40,661	
管理経費支出	353,347	400,605	△ 47,258	
借入金等利息支出	3,986	6,261	△ 2,275	
借入金等返済支出	300,000	250,000	50,000	
施設関係支出	1,055,356	512,778	542,578	
設備関係支出	55,839	87,838	△ 31,999	
資産運用支出	196,454	471,741	△ 275,287	
その他の支出	196,586	341,223	△ 144,637	
資金支出調整勘定	△ 250,559	△ 177,053	△ 73,506	
翌年度繰越支払資金	1,462,145	929,659	532,486	
支出の部合計	7,212,551	6,505,763	706,788	

資金収支計算書(前年度決算との対比)の主な内容は、次のとおりである。

【資金収入の部】
学生生徒等納付金収入…増額の主な要因は、学生生徒数増によるものである。学生生徒数 5月1日現在の前年度比 24名増。
手数料収入…増額の主な要因は、受験者数増によるものである。
寄付金収入…減額の主な要因は、100周年記念事業募金の減によるものである。
補助金収入…減額の主な要因は、経常費補助金及び私立学校施設整備費補助金の減額によるものである。
資産売却収入…増額の主な要因は、有価証券売却収入の大幅な増額によるものである。
受取利息・配当金収入…前々年度に実施した有価証券の銘柄変更と市場の状況により運用収入が減額となった。
雑収入…増額の主な要因は、退職金財団加入数職員の退職者増等に伴う交付金の増収によるものである。
その他の収入…減額の主な要因は、前期末未収入金収入が前年度に比べ大幅に減額となったこと及び、減価償却引当特定資産が前年度取崩から本年度繰入となったことによるものである。

【資金支出の部】
人件費支出…教職員数は減員となったが、期末手当及び退職金が増となったことを主な要因として増額となる。
教育研究経費支出…増額の主な要因は、中高体育館建替え関連経費、大学校舎改修関連経費、教職員の派遣費用の増額によるものである。
管理経費支出…職員の派遣費用が増額となったが、100周年関連経費及び学生募集経費が減額となったことにより、管理経費支出全体として減額となった。
借入金等利息支出…小阪キャンパス整備計画に伴う借入金利息。
借入金等返済支出…2015年度の返済は、小阪キャンパス整備計画資金 250,000千円。2016年度の返済は、小阪キャンパス整備計画資金 250,000千円、大学体育館建設資金 50,000千円。
施設関係支出…増額の主な要因は、中高体育館建替え及び翔空館健康栄養学部関連改修によるものである。
2016年度の主な施設充実は、
24号棟(中高体育館)建築、22号棟(翔空館)2・3・5・6階 健康栄養学部関連改修、1・2号棟(高槻館・円形ホール)2～3階 空調機器更新、4号棟C 地下 クラブ室等間仕切り改修、3・4号棟(芳情館)5階内装改修(インテリアデザイン学科語)、3・4号棟(芳情館)1～2階トイレ改修、棟渡廊改修(第1期工事)、翔空館～4号棟A 連絡通路屋設置、北敷地外灯4台増設 など
設備関係支出…減額の主な要因は、備品及びソフトウェアの減額によるものである。
2016年度の主な設備充実は、
大学健康栄養学部関連改修に伴う備品、大学化粧ファッション学科関連高額備品、学園IT関連設備更新、学園新人事システム関係ソフトウェア など。
資産運用支出…減額の主な要因は、有価証券購入支出の大幅な減額によるものである。前年度は、有価証券投資銘柄の変更に伴う購入が多額であった。
その他の支出…減額の主な要因は、前期末未払金支払支出が前年度に比べ大幅に減額となったことによるものである。

2.活動区分資金収支計算書 (2016年4月1日から2017年3月31日まで)

(単位 千円)

科目			2016年度決算額	2015年度決算額	増減	備考
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	3,540,530	3,500,426	40,104	
		手数料収入	59,232	57,060	2,172	
		特別寄付金収入	26,940	42,045	△ 15,105	施設設備寄付金除く
		一般寄付金収入	15,449	17,457	△ 2,008	
		経常費等補助金収入	808,732	934,560	△ 125,828	施設設備補助金除く
		付随事業収入	32,067	35,050	△ 2,983	
		雑収入	142,784	110,023	32,761	
		教育活動資金収入計	4,625,734	4,696,621	△ 70,887	
	支出	人件費支出	3,004,520	2,888,495	116,025	
		教育研究経費支出	834,877	794,216	40,661	
		管理経費支出	353,347	400,605	△ 47,258	
		教育活動資金支出計	4,192,744	4,083,316	109,428	
	差引		432,990	613,305	△ 180,315	
	調整勘定等		27,536	△ 106,852	134,388	前受金、未収入金、未払金、前払金
	教育活動資金収支差額		460,526	506,453	△ 45,927	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	26,360	27,184	△ 824	施設設備以外の寄付金除く
		施設設備補助金収入	162,991	222,803	△ 59,812	施設設備以外の補助金除く
		引当特定資産取崩収入	26,360	45,813	△ 19,453	
		施設設備売却収入	312	0	312	
		施設整備等活動資金収入計	216,023	295,800	△ 79,777	
	支出	施設関係支出	1,055,356	512,778	542,578	
		設備関係支出	55,839	87,838	△ 31,999	
		引当特定資産繰入支出	99,046	24,000	75,046	
		施設整備等活動資金支出計	1,210,241	624,616	585,625	
	差引		△ 994,218	△ 328,816	△ 665,402	
	調整勘定等		48,308	4,607	43,701	未収入金、未払金
	施設整備等活動資金収支差額		△ 945,910	△ 324,209	△ 621,701	
小計(教育活動＋施設整備)活動資金収支差額			△ 485,384	182,244	△ 667,628	
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	0	0	0	
		有価証券売却収入	1,335,963	368,594	967,369	
		引当特定資産取崩収入	56,612	51,183	5,429	
		貸付金回収収入 その他	6,511	13,644	△ 7,133	
		小計	1,399,086	433,421	965,665	
		受取利息・配当金収入	33,003	51,443	△ 18,440	
		過年度修正収入	214	0	214	
		その他の活動資金収入計	1,432,303	484,864	947,439	
	支出	借入金等返済支出	300,000	250,000	50,000	
		有価証券購入支出	39,563	356,301	△ 316,738	
		引当特定資産繰入支出	57,845	91,440	△ 33,595	
		貸付金支払支出 その他	13,659	2,400	11,259	
		小計	411,067	700,141	△ 289,074	
		借入金等利息支出	3,986	6,261	△ 2,275	
		その他の活動資金支出計	415,053	706,402	△ 291,349	
	差引		1,017,250	△ 221,538	1,238,788	
	調整勘定等		620	710	△ 90	未収入金
	その他の活動資金収支差額		1,017,870	△ 220,828	1,238,698	
支払資金増減額(小計＋その他の活動資金収支差額)			532,486	△ 38,584	571,070	
前年度繰越支払資金			929,659	968,243		
翌年度繰越支払資金			1,462,145	929,659		

活動区分資金収支計算書(前年度決算との対比)の主な内容は、次のとおりである。

【教育活動による資金収支】
教育活動資金収支差額…教育活動資金収支差額は、＋460,526千円となり、本業である教育活動でキャッシュフローが生み出せたが、前年度より 45,927千円の減額となった。

【施設整備等活動による資金収支】
施設整備等活動資金収支差額…施設整備等活動資金収支差額は、▲945,910千円となった。

【教育活動及び施設整備等活動による資金収支】
本年度は施設整備費が多額となり、教育活動で生み出したキャッシュフローを充当しても 485,384千円の不足が生じ、その他の活動(財務活動)により調達をした資金を充当することとなった。

【その他の活動による資金収支】
その他の活動資金収支差額…その他の活動資金収支差額は、1,017,870千円となった。

【翌年度繰越支払資金】
以上の結果、本年度の支払資金の増減額は 532,486千円となり、翌年度に繰越された支払資金は、1,462,145千円となった。

3.事業活動収支計算書 (2016年4月1日から2017年3月31日まで)

(単位 千円)

科目			2016年度決算額	2015年度決算額	増減	備考
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	3,540,530	3,500,426	40,104	
		手数料	59,232	57,060	2,172	
		寄付金	42,830	60,184	△ 17,354	
		経常費等補助金	808,732	934,560	△ 125,828	
		付随事業収入	32,067	35,050	△ 2,983	
		雑収入	142,791	110,511	32,280	
		教育活動収入計	4,626,182	4,697,791	△ 71,609	
	支出	人件費	2,988,433	2,916,455	71,978	
		教育研究経費	1,569,643	1,531,890	37,753	
		管理経費	402,322	447,856	△ 45,534	
		徴収不能額等	5,658	6,085	△ 427	
		教育活動支出計	4,966,056	4,902,286	63,770	
	教育活動収支差額		△ 339,874	△ 204,495	△ 135,379	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	33,003	51,443	△ 18,440	
		教育活動外収入計	33,003	51,443	△ 18,440	
	支出	借入金等利息	3,986	6,261	△ 2,275	
		教育活動外支出計	3,986	6,261	△ 2,275	
	教育活動外収支差額		29,017	45,182	△ 16,165	
経常収支差額			△ 310,857	△ 159,313	△ 151,544	
特別収支	収入	資産売却差額	170	0	170	設備売却益
		その他の特別収入	199,144	252,851	△ 53,707	施設設備の補助金・寄付金など
		特別収入計	199,314	252,851	△ 53,537	
	支出	資産処分差額	55,174	254,920	△ 199,746	施設設備処分など
		特別支出計	55,174	254,920	△ 199,746	
	特別収支差額		144,140	△ 2,069	146,209	
基本金組入前当年度収支差額			△ 166,717	△ 161,382	△ 5,335	従来の帰属収支差額
基本金組入額合計			△ 1,038,768	△ 533,118	△ 505,650	
当年度収支差額			△ 1,205,485	△ 694,500	△ 510,985	従来の当年度消費収支超過額
前年度繰越収支差額			△ 11,026,127	△ 10,331,627	△ 694,500	
基本金取崩額			158,000	0	158,000	
翌年度繰越収支差額			△ 12,073,612	△ 11,026,127	△ 1,047,485	
(参考)						
事業活動収入計			4,858,499	5,002,085	△ 143,586	従来の帰属収入
事業活動支出計			5,025,216	5,163,467	△ 138,251	従来の消費支出
経常収入			4,659,185	4,749,234	△ 90,049	
経常支出			4,970,042	4,908,547	61,495	

事業活動収支計算書(前年度決算との対比)の主な内容は、次のとおりである。

【教育活動収支】
教育活動収入…減額の主な要因は、寄付金及び経常費等補助金の減額によるものである。
教育活動支出…増額の主な要因は、人件費(退職金関係)及び中高体育館建替え関連経費・大学校舎改修関連経費の増によるものである。
教育活動収支差額…結果、本年度の教育活動収支差額は、▲339,874千円となった。

【教育活動外収支】
教育活動外収入…受取利息・配当金収入であり、前々年度に実施した有価証券の銘柄変更と市場の状況により運用収入が減額となった。
教育活動外支出…小阪キャンパス整備計画に伴う借入金利息。
教育活動外収支差額…結果、本年度の教育活動外収支差額は、29,017千円となった。

【経常収支】
以上の結果、経常収支差額は、▲310,857千円となった。

【特別収支】
特別収入…減額の主な要因は、施設設備補助金の減額によるものである。
特別支出…減額の主な要因は、前年度において大学キャンパス統合に伴う図書処分などの特別な支出が多額であった設備処分差額の減額によるものである。
特別収支差額…結果、本年度の特別収支差額は、144,140千円となった。

【基本金組入前当年度収支差額】
以上の結果、事業活動収入は、4,858,499千円、事業活動支出は、5,025,216千円となり、
基本金組入前当年度収支差額は、前年度より ▲5,335千円増額され ▲166,717千円となった。

【基本金組入額】
本年度の施設設備の充実及び借入金返済などの状況により、前年度より増額となった。

【当年度収支差額】
以上の結果、当年度収支差額は、前年度より ▲510,985千円増額され ▲1,205,485千円となった。

【基本金取崩額】
第4号基本金(恒常的支払資金)について158,000千円の取崩しを行った。

【翌年度繰越収支差額】
したがって、翌年度に繰越される収支差額は、前年度比で ▲1,047,485千円増額され ▲12,073,612千円となった。

4.貸借対照表 (2017年3月31日現在)

(単位 千円)

科目	2016年度決算額	2015年度決算額	増減	備考
資産の部				
固定資産	21,460,136	21,109,382	350,754	
有形固定資産	19,661,685	19,376,663	285,022	
特定資産	1,735,755	1,660,977	74,778	
その他の固定資産	62,696	71,742	△ 9,046	
流動資産	2,182,998	2,960,154	△ 777,156	
資産の部合計	23,643,134	24,069,536	△ 426,402	
負債の部				
固定負債	6,085,313	6,572,190	△ 486,877	
流動負債	948,854	721,662	227,192	
負債の部合計	7,034,167	7,293,852	△ 259,685	
純資産の部				
基本金	28,682,579	27,801,811	880,768	
1号基本金	28,354,579	27,315,811	1,038,768	
4号基本金	328,000	486,000	△ 158,000	
繰越収支差額	△ 12,073,612	△ 11,026,127	△ 1,047,485	
翌年度繰越収支差額	△ 12,073,612	△ 11,026,127	△ 1,047,485	
純資産の部合計	16,608,967	16,775,684	△ 166,717	
負債及び純資産の部合計	23,643,134	24,069,536	△ 426,402	
減価償却額の累計額の合計	11,478,510	11,032,699	445,811	
基本金未組入額	2,690,301	3,001,124	△ 310,823	

貸借対照表の主な内容は、次のとおりである。

【資産の部】
有形固定資産…増額の主な要因は、中高体育館建替え及び翔空館健康栄養学部関連改修による増額。
特定資産…増額の主な要因は、減価償却引当特定資産の増額。
その他の固定資産…減額の主な要因は、長期貸付金及び長期前払金の減額。
流動資産…減額の主な要因は、流動有価証券の減額。

【負債の部】
固定負債…減額の主な要因は、長期借入金の任意返済及び返済期限が1年以内の長期借入金の短期借入金への振替による減額。
流動負債…増額の主な要因は、返済期限が1年以内の長期借入金及び未払金の増額。

【純資産の部】
基本金…本年度の施設設備の充実及び過年度未組入れに係る当期組入による増額。
繰越収支差額…前年度比で ▲1,047,485千円増額され ▲12,073,612千円となった。

学校法人樟蔭学園 2016(平成28)年度 財務比率

1.活動区分資金収支計算書関係比率

(単位 %)

比率名	算式	2016年度
経営判断	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 / 教育活動資金収入計	10.0

教育活動資金収支差額比率…学校法人における本業である「教育活動」でキャッシュフローが生み出せているかを測る比率である。この比率はプラスであることが望ましいが、「その他活動」でキャッシュフローを生み出し、教育研究活動の原資としている場合もあり得るため、「その他活動」の収支状況を併せて確認する必要がある。

2.事業活動収支計算書関係比率

(単位 %)

比率名		算式	2016年度
経営状況	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	△3.4
収入構成	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 経常収入	76.0
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 / 経常収入	0.9
	経常補助金比率	教育活動収支の補助金 / 経常収入	17.4
支出構成	人件費比率	人件費 / 経常収入	64.1
	教育研究経費比率	教育研究経費 / 経常収入	33.7
	管理経費比率	管理経費 / 経常収入	8.6
	借入金等利息比率	借入金等利息 / 経常収入	0.1
	基本金組入率	基本金組入額 / 事業活動収入	21.4
収支バランス	有価証券依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	84.4
	基本金組入後収支比率	事業活動支出 / (事業活動収入 － 基本金組入額)	131.6
	経常収支差額比率	経常収支差額 / 経常収入	△6.7

【経営状況】
事業活動収支差額比率…この比率がプラスで大きいほど自己資金が充実し、財政面での将来的な余裕につながるものである。

【収入構成】
学生生徒等納付金比率…学生生徒等納付金は、学生生徒等の増減並びに納付金の水準の高低の影響をうけるが、学校法人の帰属収入のなかで最大の割合を占めており、補助金や寄付金に比べて外部要因に影響されることの少ない重要な自己財源であることから、この比率が安定的に推移することが望ましい。
経常寄付金比率…寄付金比率につき、施設設備寄付金を除く経常的な要素に限定した比率である。
経常補助金比率…補助金比率につき、施設設備補助金を除く経常的な要素に限定した比率である。

【支出構成】
人件費比率…人件費は、学校における最大の支出要素であり、この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化に繋がる要因ともなる。
教育研究経費比率…この経費は、教育研究活動の維持・充実のためには不可欠なものであり、この比率も収支均衡を失しない範囲内で高くなるのが望ましい。
管理経費比率…この経費は、教育研究活動以外の目的で支出される経費であり、学校法人の運営のため、ある程度の支出は止むを得ないものの、比率としては低い方が望ましい。
借入金等利息比率…この比率は、学校法人の借入金等の額及び借入条件等によって影響を受け、貸借対照表の負債状態が事業活動収支計算書にも反映しているため、学校法人の財務を分析する上で重要な財務比率の一つである。
基本金組入率…学校法人の諸活動に不可欠な資産の充実のためには、この基本金への組入が安定的に行われることが望ましい。

【収支バランス】
人件費依存率…この比率は、人件費比率及び学生生徒等納付金比率の状況にも影響され、一般的に人件費は学生生徒等納付金で賄える範囲内に収まっている(比率が100%を超えない)ことが理想的である。
基本金組入後収支比率…この比率が100%を超えると、事業活動支出が基本金組入後の事業活動収入を上回る支出超過(赤字)となり、100%未満であると収入超過(黒字)となる。
一般的には、収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられるが、事業活動収支を黒字にして資金蓄積を図ることを計画するならば、低い値ほど目的に適うことになる。
経常収支差額比率…「教育活動」及び「教育活動外」の経常的な収支バランスを表す比率である。

3.貸借対照表関係比率

(単位 %)

比率名		算式	2016年度
自己資金は充実されているか	純資産構成比率	純資産 / (総負債 ＋ 純資産)	70.2
長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	固定資産 / 純資産	129.2
	固定長期適合率	固定資産 / (純資産 ＋ 固定負債)	94.6
負債に備える資産の蓄積がされているか	内部留保資産比率	(運用資産 － 総負債) / 総資産	△14.4
	運用資産余裕比率(※)	(運用資産 － 外部負債) / 経常支出	△0.2
	流動比率	流動資産 / 流動負債	230.1
負債の割合はどうか	総負債比率	総負債 / 総資産	29.8
	負債比率	総負債 / 純資産	42.4

(※)運用資産余裕比率については、[単位 年]である。
■運用資産 ＝ 特定資産 ＋ 有価証券 ＋ 現金預金
■外部負債 ＝ 総負債 －(退職給与引当金 ＋ 前受金)

【自己資金は充実されているか】
純資産構成比率…純資産の「総負債及び純資産の合計額」に占める構成割合である。この比率は、学校法人の資金の調達源泉を分析するとて、最も総括的で重要な指標である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資金を上回っていることを示している。

【長期資金で固定資産は賄われているか】
固定比率…固定資産の純資産に対する割合で、固定資産にどの程度自己資金が投下されているか、資金の調達源泉とその使途とを対比させる比率である。低い方が望ましい。固定資産に投下した資金の回収は長期間にわたるため、本来投下資金は返済する必要のない自己資金を充てることが望ましい。しかし、現実的には大規模設備投資の際には、外部資金の導入をせざるをえない場合が多いために、この比率が100%を超えることは少なくない。このような場合は、固定長期適合率も利用して判断する必要がある。

【収支バランス】
固定長期適合率…固定資産の、純資産と固定負債を合計した長期資金に対する割合である。この比率は、固定比率を補完する比率で、固定資産の取得のためには、長期間活用できる安定した資金として、自己資金のほかに短期的に返済を迫られない長期借入金でこれを賄うべきであるという原則に、どれだけ適合しているかを示す指標である。この比率は100%以下で低いほど良いとされる。なお、100%を超える場合は、固定資産の調達源泉に短期借入金等の流動負債を導入していると解することができ、財政の安定性に欠け、長期的にみて不安があることを示している。

【負債に備える資産の蓄積がされているか】
内部留保資産比率…特定資産(各種引当特定資産)と有価証券(固定資産及び流動資産)と現金預金を合計した「運用資産」から総負債を引いた金額の総資産に占める割合である。この比率がプラスとなる場合は、運用資産で総負債をすべて充当することができ、結果的に有形固定資産が自己資金で調達されていることを意味しており、プラス幅が大きいほど運用資産の貯蓄度が大きいと評価できる。一方、この比率がマイナスとなる場合、運用資産より総負債が上回っていることを意味しており、財政上の余裕度が少ないことを表している。
運用資産余裕比率…運用資産から、総負債のうち退職給与引当金と前受金を除いた外部負債を引いた金額が、事業活動収支計算上の経常支出の何倍かを示す比率であり、学校法人の一年間の経常的な支出規模に対しての程度の運用資産が蓄積されているかを表す指標である。この比率が1.0を超えている場合とは、すなわち一年間の学校法人の経常的な支出を賄えるだけの資金を保有していることを示し、一般的にはこの比率が高いほど運用資金の貯蓄が良好であるといえる。なお、この比率の単位は(年)である。
流動比率…一般的に200%以上が好ましい状態であるが、この比率が極端に低い場合には資金流動性に欠け資金繰りが苦しいと判断できる。ただし、学校法人にあっては、流動負債のうちの前受金は外部負債とは性格を異とし比重も大きいことや、資金運用の点から、長期有価証券へ運用替えしている場合もあり、また、将来に備えて引当特定預金等に資金を留保している場合もあるため、必ずしもこの比率が低くなると資金繰りに窮していとはならないので留意されたい。

【負債の割合はどうか】
総負債比率…この比率は、一般的に低いほど望ましく、50%を超えると負債総額が純資産を上回ることを示し、さらに100%を超えると負債総額が資産総額を上回る状態、いわゆる債務超過であることを示す。
負債比率…この比率は、他人資金である総負債が自己資金である純資産を上回っていないかどうかを測る指標で、100%以下で低い方が望ましい。

発行日：2017年6月10日
発　行：学校法人 樟蔭学園 100周年記念事業本部
〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26
TEL 06-6723-8152　E-mail 100th@osaka-shoin.ac.jp

リレー★コラム

Column-11

『円形校舎の記憶』

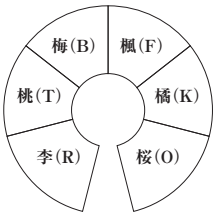
中学校・高校　数学科　永井 利和 先生

中学校円形校舎（1995年頃）

ながい・としかず
●中学校教諭
数学科 担当
京都府生まれ。1976年より樟蔭中学校で勤務。高校時代は陸上部の400m選手。

円形校舎は1956（昭和31）年頃の竣工と聞いています。現在の千種館が出来るまでの約40年間、樟蔭中学校の顔として生徒たちに親しまれてきました。卒業生たちの樟蔭中学校での思い出は親友とともに、この円形校舎の存在がなくてはならないほど心に強く残っています。それほど個性的でユニークな存在感ある校舎でした。

校舎の位置は今の千種館西棟あたりに建っており、1階が1年生、2階が2年生、3階に3年生が入っていました。校舎に入るとすぐ右に全身をうつす鏡が設置されておりそこを通るとき、生徒も先生方も身だしなみ（心の準備?）のチェックをしておりました。階段は上りと下りが分かれており一方通行。上り階段は円形校舎の中心部分のらせん階段で床は赤色です。下りはR組の横に設置され床は草色でした。平面図のごとく教室は時計と反対まわりに桜（O）組、橘（K）組、楓（F）組、梅（B）組、桃（T）組、李（R）組の1学年6クラス編成。クラス名は先生も生徒も漢字でなくOKFBTRとアルファベットで呼んでいました。校舎のつくりが円形なので、1つ1つの教室はバームクーヘンのような形であり、狭い方が前で黒板が設置され、後ろへ行くほど拡がっています。当時は空調設備などもなく、夏は天井の扇風機が2機だけ。冬は筒形のガスストーブが1台あるだけで、休み時間ストーブのそばに集まり、おしゃべりに花を咲かせていました。2、3階の教室の後ろにはベランダがあり何故かそこで『こらーまてぇー』とやんちゃな生徒を走って追いかけている記憶があります。本人は真剣だったのですが、今から思えばなんと大らかなことをしていたのでしょうか！



円形校舎の教室配置図

冒頭にあげた円形校舎の魅力ですが、やはりこの円形という構造にあるのではないかと思います。1学年が同じフロアにおり、教室の前にある廊下に出てきます。上り階段をはさんでみんなが見える、何をしているかが分かる。円形という全体のエネルギーが中心に集まりやすい建物構造になっていたのです。私学の女子校の特徴は一生付き合える親友が見つかることです。その陰の環境設定をしていたのは実はこの円形校舎だったんだ、円形校舎がなくなってから気づきました。やや遅過ぎますが今ここに円形校舎に感謝です。

STAFF @ SHOIN 11

外国語でコミュニケーションがとれる喜びを味わいながら勉強してほしい

フラス・ポロナ さん
国際交流室、英語教育センター（ELTC）

フラス・ポロナ●スロベニア共和国出身。リュブリャナ大学文学部アフリカアジア研究学科出身。5カ国語堪能。趣味はジャズダンス。「樟蔭生たちとユニットを組みたいです」

スロベニアにいた時に日本語のきれいな音に惹かれ、日本文化に興味を持ちました。学生時代に留学先として大阪樟蔭女子大学を選んだ理由は、歴史や文学だけではなく、幅広く日本文化について勉強できるプログラムがあったからです。

留学中にアルバイトをしていたＥＬＴＣ・国際交流室に正式採用され、現在に至っています。

生徒たちには、日本語を介さずにコミュニケーションに取り組んでほしいと考えています。だから中学1年生の英語クラスでは、私が日本語を使えることを伝えていません。小学生、幼稚園児対象のキッズイングリッシュでは、英語に慣れてもらうために、歌やゲームを一緒に楽しんでいます。

日本語を勉強したいと思ったきっかけは、子どものころにテレビで見たアニメ「セーラームーン」を原作で読みたいと思ったから。日本語の台詞を丸ごと覚えたり、辞書を引いたりするうちに日本語ができるようになりました。生徒たちによく言うのは、「試験のためじゃなくて、自分のために勉強しよう」ということ。音楽、ドラマ、映画、何でも楽しんで続ければ実力は必ず伸びますよ。

言葉は生き物。教室だけでなく生活の中で使っているうちに、いつの間にか上達します。毎日、どんなことでも、少しずつでいいから続けてください。私も生徒たちが「もっと英語を話したい、海外に行きたい」と思ってくれるよう頑張ります。